

2024. 6 月

# 女性チャレンジ応援拠点だより



## コラム 「超えるコミュニケーション」

そろそろ梅雨の季節、どうやら今年も暑くて長い夏になりそうです。昨年は11月初めで夏日を超える気温になりました。半年近くも夏日が続くと、これはカラダに堪えま  
す。今からしっかり日々の体調を気にかけていきましょう。仕事や活動に安定して力をそそぎ、創造性を損なわず  
磨きをかけるためにも、ほどよい休養をお忘れなく。

さて、拠点だよりの今年度のテーマ『夢をカタチにみち  
びくコミュニケーション』の2回目は、「超えるコミュニ  
ケーション」です。先に前回のコラムの結び、「コミュニ  
ケーション・ギャップは付きもの」ということを確認して  
おきましょう。このことを自分の感覚として備えられれ  
ば、コミュニケーション能力の〈上級者〉といえるかもし  
れません。伝える努力をする、相手を理解しようと努め  
る、それでも限界はあると了解できる、だから自然に超然  
と構えられる。結果的に人間関係のストレスもさほど深刻  
にならずに済む。感覚として「ギャップは付きもの」を自  
分の中に定着させることは簡単ではありませんが、心がけ  
ていきたいものです。

そのことも含めて「コミュニケーション」が、社会生活  
をよりよく営んでいく上で生涯のテーマとなるのは、現に  
見て聞く言葉や形、声や音そのものを超えて、わたしたち  
は読みとっている、という点です。例えば、あるセミナー  
に参加したAさんの場合です。「無料だったので、試しに  
応募して気軽に受講したんですけど、講師の人が会場に入  
ってきて、演壇で第一声を発したとき、これは！と感じ  
て、背筋をのびして座り直しました」。

聞くところ、まず演壇に向かう姿に“うん？”、そして  
「みなさん」と発した安定して低めのキリリとした声に、  
背中をポンとたたかれたように感じたそうです。装いも体  
形も目立つような点はなく、ごく普通なんだけど、何かし  
ら独特な「雰囲気」、あまりヘタなことではできない相手と

いう「感じ」がしたそうです。そして自分のこの〈見立  
て〉は正しかったというのです。このセミナーは複数回あ  
ったので、人柄や人間性をみた、信頼感をもった、そこで  
追ってお礼のメールをして、それをきっかけに今も交流が  
続き、自分にとって貴重な出会いになっている、と。

せっかく出会いをセッティングしてもらったけど、あえ  
て関係を発展させなかったという人もいます。チャレンジ  
してまもないBさんは、学生時代のクラスメートから  
「友だちに女性起業家がいるから紹介する」と誘われ、3  
人で会ったそうですが、“この人が起業家…?”という印象  
を持ったそうです。詳細は省くとして、たしかに一般には  
「起業家」とは言わない事業形態でした。小一時間ほど話  
をして分かれる頃には、Bさんは“これっきりにしよう”と  
決めたそうです。紹介してくれたクラスメートには後日あ  
らためて丁重にお礼のメールをして、その後は自分からの  
連絡はしていないそうです。

「それにしても、一つの驚き、気づきがありました」と  
Bさん。同じ人を見ても、クラスメートと自分の読みとる  
ものが違う。「この差は大きいですね、その後の展開が場  
合によってはかなり違ってきますから」。どちらがいい、  
わるいということではなく、社会は多様性に富んでいると  
いうことですね。

と、まだ続けたいところですが、今回はこのぐらいいし  
て、次回にまわします。社会生活はコミュニケーション・  
シーンの海原のようなものですから、典型例だけでも際限  
がないほどです。実際みなさんもそうではないでしょ  
うか。いま何か対処になやんでいるという方は、どうぞ開室  
日に「女性チャレンジ応援拠点」をお訪ねください。スタ  
ッフと一緒に考えていくと、ヒラメキの可能性もありま  
す。スタッフ一同、ご利用をお待ちしています。

## 女性チャレンジ応援拠点

場所：大阪市天王寺区上汐 5-6-25 クレオ大阪中央 4 階  
電話&ファックス：06-7659-9640  
メール：women-kyoten@danjo.osaka.jp  
運営：大阪市立男女共同参画センター中央館  
(電話 06-6770-7200 FAX 06-6770-7705)

### ※開室日

火	水	木	金	土
10:30 ? 12:30	18:00 ? 20:00	13:00 ? 15:00	10:30 ? 12:30	13:00 ? 15:00

※日・月曜日、祝日、祝休日の翌日は休業

※開室時間内は自由に出入りいただけます。  
お気軽にお立ち寄りください。

